

【教育目標】夢へのチャレンジ 切磋琢磨する生徒（令和4年11月1日改訂）



さくら

桜

ばな

花

○美の心
○本気の学び
○論より実践

令和8年9月30日発行 第5号

= 令和8年度「重点教育目標」= 美中 PRIDE

「本気の修学旅行」

校長 葉茸 清敏

今夏の日本列島は、線状降水帯による記録的な大雨が各地に甚大な被害をもたらしました。北海道内においても例外ではなく、改めて自然災害の脅威を痛感させられる夏となりました。こうした事態を受け、本校におきましても防災・防犯の観点から迅速な対策の強化が急務となっております。生徒たちが安心して学校生活を送れるよう、このたび防犯カメラの設置をはじめとする各種安全対策を推進しているところ

です。
さて、9月1日、今年度より航空機利用へと刷新された3年生の修学旅行がスタートしました。札幌を中心とした行程は極めて順調に進み、誰もが「大成功」を確信していました。



しかし、旅の終着点である新千歳空港で予期せぬ事態に見舞われます。落雷によるフライト遅延、そして突然の「欠航」――。

一刻を争う事態の中、「全員を安全に連れて帰る」という強い思いのもと、旅行会社と本校職員は直ちに代替手段の模索に乗り出しました。当初検討した夜間の長距離バス移動は車両確保が難しく断念したものの、関係各位のご尽力により、札幌への戻り便バス、翌朝の長距離バス、そして3か所に分かれての宿泊先を土壇場で確保することができました。無事に各ホテルへチェックインできたのは、深夜23時を過ぎた頃でした。

教職員が対応に追われる一方、何より胸を打たれたのは生徒たちのたくましさです。前代未聞のトラブルにも動じることなく、「もう1泊できる!」とその状況すら前向きに受け止め、笑顔を見せてくれました。

翌日、全員が無事に学校へ到着し、温かく迎えてくださった保護者の皆様のもとへ生徒たちをお返しできた瞬間、この修学旅行は最高のエンディングを迎えました。

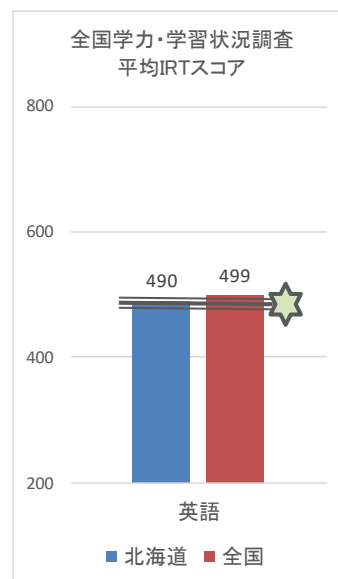
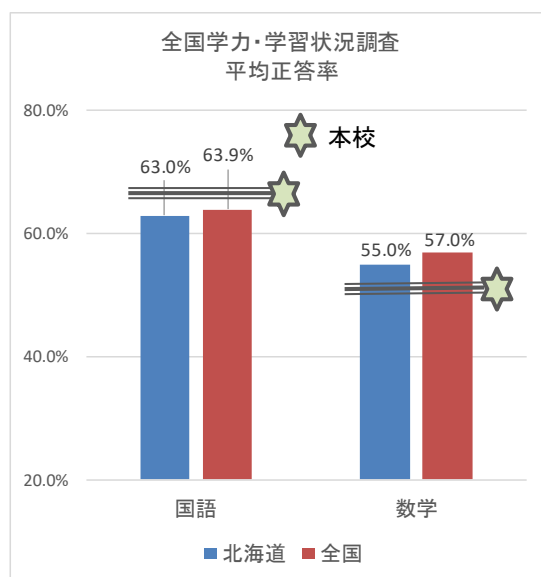
予定通り帰着したA組も、思いがけず4日間の旅となったB組も、仲間と過ごしたこの時間はかけがえのない思い出となったはずです。行動目標を意識して乗り越えた今回の経験は、生徒たちを大きく成長させてくれました。

保護者の皆様におかれましては、急な予定変更にもかかわらず、深いご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。今回の経験をしっかり次年度へ引き継ぎ、より安全で充実した計画を進めてまいります。2年生の保護者の皆様も、どうぞご期待ください。

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

文部科学省が4月に全国の小学6年生と中学3年生を対象に行っている「全国学力・学習状況調査」の結果が届きました。この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校教育の施策等の成果と課題を検証し、その改善を図ることを主な目的に、毎年実施されています。

本校の平均正答率（英語は平均IRTスコア）について、国語は全国・全道平均を上回り、英語は全道平均を上回りましたが、数学は全国・全道平均を下回る結果となりました。ただ、数学の中でも、問題によっては全国・全道平均を上回るものも見られます。



問題別に見ると、次の問題に課題がありました。（無回答率が大きかった問題）

- ・（国語）「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする」
無回答率15.1%
- ・（数学）「数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」無回答率28.3%
- ・（英語）「社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す」
無回答率42.0%

質問調査における各教科の質問では、「国語の勉強は好き」「国語は将来、社会に出たときに役に立つ」と国語の学習に関する質問において、前向きな回答が目立ちました。数学に関する質問では「得意」とする回答は国語には及びませんでした。しかし「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか」という質問では「どちらかといえば当てはまる」も含めると全国平均より高く、粘り強く取り組もうとする姿勢が見られます。学力調査では測ることができない生徒の学習に対する関心や意欲の高さが窺えます。

今回の調査結果からは、問題の意図を読み取って思考し、思考したことを相手に伝えるようにまとめて表現する力の習得が課題として浮かび上がります。この傾向は昨年同様ではありますが、無回答率自体は昨年より低くなってきており、着実に力をつけている様子が見られます。美幌中学校では、「尊重・傾聴・共感を大切にしたい話し合い活動」を取り入れた授業をすべての学年、教科で実践しているところです。生徒の「聴く」力を高め、活発な話し合い活動ができる授業を展開することにより、考える力の伸長とより深い対話的な学びにつなげていきます。生徒が確かな学力を身につけられるよう、今後も継続して授業改善を行っていきます。

学校教育活動に関するアンケート（前期）について

Ⅰ学期の終了時にオンラインで実施した「学校教育活動に関するアンケート（前期）」について、ご協力いただきありがとうございました。集計結果は、別添のとおりとなっております。ここでは、結果の総括と今後の教育活動についての改善や方向性をまとめました。

ご家庭におかれましては、学習や日常生活について今回のアンケート結果を基にお子様と語り合っていたいただきたいと思います。

1 美の心について

- ・「友達のよさを理解し、互いに認め合う」ことを意識した学校生活について、概ね良好であるという回答が、教職員 100%、生徒 100%、保護者 94%でした。
- ・いじめへの認識や対応について、概ね良好であるという回答が、教職員 100%、生徒 98%、保護者 87%でした。
- ・いじめ防止等について、否定的な回答率が昨年度より減ってきている状況です。学校では生徒会による「いじめ0（ゼロ）宣言」を行うなど啓発活動を進めています。日常のあらゆる活動を通して「美の心」を意識しながら指導にあたります。

2 本気の学びについて

- ・今年度の重点目標を意識した取組について、概ね良好であるという回答が、教職員 100%、生徒 83%、保護者 73%でした。
- ・「ICT の活用」について、概ね良好であるという回答が、教職員 100%、生徒 97%、保護者 89%でした。
- ・「尊重・傾聴・共感」を意識した日常の授業について、教職員 100%、生徒 92%、保護者 81%でした。
- ・ICT の活用や今年度の授業研究に関わる評価は比較的高い傾向になりました。今年度の研修テーマ「深まる思考、響き合う力」を意識して指導方法の工夫・改善に取り組み、生徒主体の「本気の学び」ある授業づくりに努めていきます。

3 論より実践について

- ・規則正しい生活習慣の確立について、「規則正しい生活習慣が身に付くよう指導している」と回答した教職員は 100%です。
- ・「平日ゲームや SNS、動画視聴を 2 時間以上行っている」生徒の割合は 57%でした。
- ・「平日の学習時間が 1 時間未満」と答えている生徒の割合は 66%でした。
- ・「自分で計画を立てて学習している」と肯定的に回答した生徒が 83%いる一方、平日 1 時間以上勉強している生徒は 42%にとどまっています。
- ・計画的に家庭学習を行っている生徒や平日 1 時間以上家庭学習をしている生徒の割合は昨年同時期より増えていますが、その一方で長時間ゲームしている生徒の割合は依然として高く、学習や健康への悪影響（睡眠不足や頭痛、倦怠感等）が心配です。
- ・生徒の家庭学習の定着や規則正しい生活習慣の確立のためには、学校の指導とともに「生徒自身の意識の向上」と「保護者等の協力」を踏まえた取組が不可欠であると考えます。
Ⅰ・2 年生については計画的・継続的に学習できるように支援を、3 年生については進路実現に向けて、目標を明確にして取り組むよう励まし応援をお願いいたします。

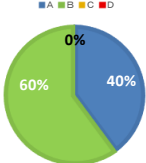
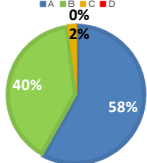
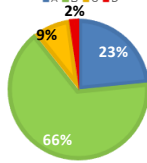
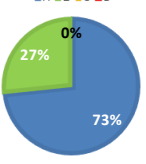
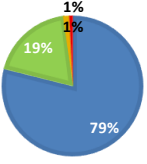
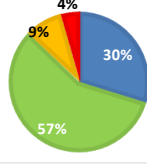
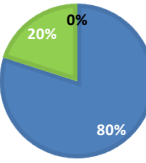
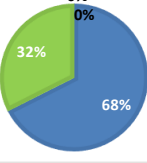
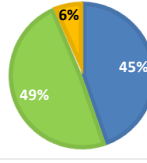
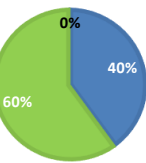
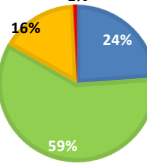
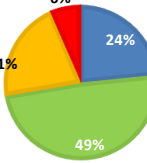
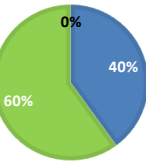
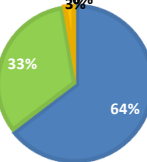
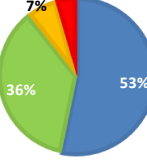
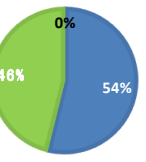
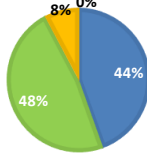
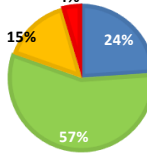
学校教育活動に関するアンケート（学校評価アンケート）の質問別結果については、次ページ以降に掲載していますのでご覧ください。

令和8年度

学校評価アンケート(前期)

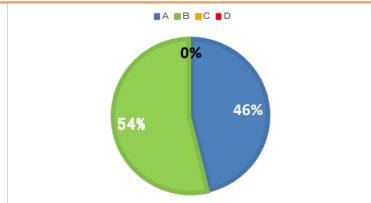
美幌町立美幌中学校

項目ごとの評価 [A=あてはまる B=ややあてはまる C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない]

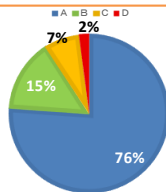
教職員	生徒	保護者
	回答 86.1 %	回答 29.3 %
美の心		
1 道徳の授業では、生徒に道徳的価値への気付きや実践力を育むよう取り組んでいる。 	1 道徳の授業では、自分の考えを広げたり、大切なことに気付いたりしていますか。 	1 お子さんは、道徳の授業で学んだことを生かし、学校生活を送っていると思いますか。 
2 生徒の小さな変化を見逃さず、いつでも相談にのれる体制を維持しながら、いじめがなくなるように指導を行い、生徒が安心して生活できる環境をつくっている。 	2 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。 	2 学校はいじめがなくなるように取り組むなど、生徒一人ひとりが安心して生活できる環境づくりに努めていると思いますか。 
3 一人一人のよさや違いを理解し、互いに認め合う指導をしている。 	3 友達のよさを理解し、互いに認め合うように生活をしている。 	3 お子さんは友達のよさを理解し、互いに認め合うように生活をしていると思いますか。 
本気の学び		
4 重点教育目標「PRIDE」を意識して、教育活動を行っている。 	4 重点教育目標「PRIDE」を意識して、授業や行事に取り組んでいますか。 	4 お子さんは、重点教育目標「PRIDE」を意識して、授業や行事に取り組んでいると思いますか。 
5 ICTを効果的に活用し、理解を深める授業づくりに取り組んでいる。 	5 学習の中でタブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。 	5 学習の中でタブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。 
6 研究テーマ「深まる思考、響き合う力～尊重・傾聴・共感を大切に話し合い活動～」を意識して、日常授業に取り組んでいる。 	6 授業では、話の聞き方エチケット「尊重・傾聴・共感」を意識しながら自分の考えを伝えたり、話し合い活動に参加したりしていますか。 	6 参観日の授業でお子さんは、他者の発言・発表に耳を傾けたり、進んで話し合い活動に参加したりする様子が見られましたか。 

論より実践

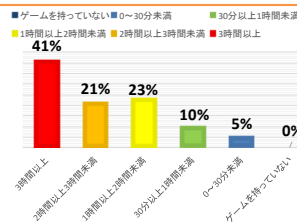
7 生徒に規則正しい生活習慣が身に付くよう、テレビやゲーム、食事、睡眠などの時間の目安を考えさせながら指導している。



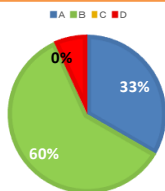
7 朝食を毎日食べていますか。



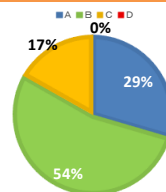
8 普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームを含みます）、SNSや動画視聴をしますか。（選択）



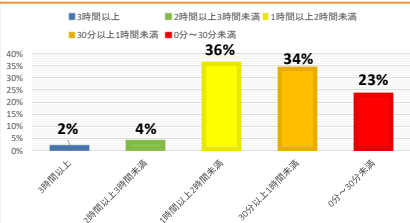
8 家庭学習を奨励し自学自習の姿勢を育んだり、授業と関連した宿題を出したり、自主学習の取組をすすめて、家庭学習の習慣化に向けて指導している。



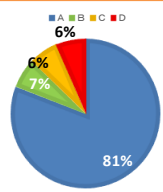
9 家では、宿題をやったり、自分で計画を立てて学習したりしていますか。



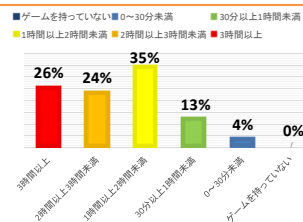
10 学校の授業以外に普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどのくらいの時間勉強をしていますか。（選択）



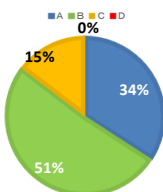
7 お子さんは、朝食を毎日食べていますか。



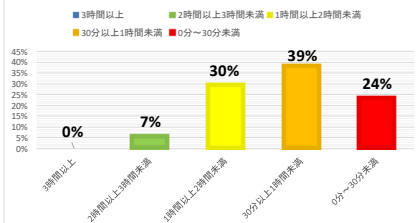
8 お子さんは、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームを含みます）、SNSや動画視聴をしますか。（選択）



9 お子さんは、家で宿題をしたり、自分で計画を立てたりして勉強に取り組んでいますか。



10 お子さんは、1日（平日）どのくらい家庭学習に取り組んでいますか。（選択）



輝け！美中生！大会結果（敬称略、入賞分のみ）

【吹奏楽】北海道吹奏楽コンクール

美幌中・北中・津別中合同バンドで出場 A編成 金賞

【陸上】北海道中学校新人陸上競技大会

美幌中拠点校で出場 男子砲丸投げ K ≪ 6 位 ≫

女子 4×100mR 美幌中拠点校 ≪ 3 位 ≫（美中からT出場）

美幌 RC で出場 男子 200m T ≪ 1 位 ≫

2 年男子 100m T ≪ 2 位 ≫

女子円盤投げ A ≪ 2 位 ≫

【陸上】オホーツク中学校駅伝競走大会 女子 美幌中拠点校 ≪ 1 位 ≫

